

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

事務事業名		いばらきブロードバンドネットワーク事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	060304000262
						単独/補助	単独	所属課	010201
政策体系	総合計画の施策名	0603 時代に合った自治体運営						課長名	企画課
	政策名	06 みんなで築く自治のまちづくり						グループ	企画グループ
	施策名	03 時代に合った自治体運営						担当者名	
	手段名	04 ④適確な市民サービスの提供と個人情報の保護							
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	09	01	00	情報管理事業		
法令根拠	国民年金法・地方自治法					単年度繰返し ( 年度~ )			
						☞ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
いばらきブロードバンドネットワーク (IBBN) とは茨城県と市町村が整備した幹線10Gbpsの性能を備えた超高速・大容量情報通信ネットワークであり、行政サービスの効率化・高度化を推進するのが目的である。 また、情報格差の是正、産業の振興を目的とし、県内の企業なども利用している。	大和庁舎にあるIBBNのルーターから基幹及び内部情報系へのネットワークへの接続の管理、また工事等による通信の遮断の周知を行っている。 負担金削減のため、平成22年3月末日をもって岩瀬、真壁庁舎の機材を廃止し、新たな光ケーブルを敷設、庁舎間の通信を行っている。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
大和庁舎のIBBNのルーターから基幹及び内部情報系へのネットワークへの接続の管理、また工事等による通信の遮断の周知。岩瀬、真壁庁舎の機材を廃止し、新たな光ケーブルを敷設、庁舎間の通信。	会議への出席回数	回	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	IBBN機材管理作業回数	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
IBBNネットワーク	IBBN回線数	系統	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
IBBNネットワーク利用率を増やす	IBBN利用業務数	件	12.00	12.00	12.00	12.00	12.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	3,379	3,396	3,801	0
	事業費計 (A)	千円	3,379	3,396	3,801	0
正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人		

02年度事業費 実績 (千円)

03年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)	03年度事業費 予算 (千円)
18 負担金補助及び交付金	3,396	3,801
合計	3,396	3,801

事務事業名	いばらきブロードバンドネットワーク事業	事務事業No.	60304000262	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
平成13年県の発案により県内に情報通信網を構築すると言うことで県と全市町村共同で構築、平成15年10月に運用が開始された。当初県、全市町村が利用することで構築されたが一般にもIBBN回線を開放することになった。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
地元企業等からIBBNルータのポート解放が一時期要望がなされていたが、現在は市内全域に光ファイバによる高速ブロードバンドが整備されたため、今後IBBNの一般開放の可能性は低いと考えられる。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 高速、大容量送信可能なブロードバンドでありパフォーマンスも高く県、市町村は情報のやり取りがスムーズに行える。
有効性	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 県、市町村が構築、運用しているものであり妥当である。
効率性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 機器の更新時に合わせて伝送容量アクセス部100Mbpsから1Gbpsに、幹線部2.4Gbpsから10Gbpsに向上した。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業はない。
公平性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 通信設備、回線の整備及び運用費は負担金として県に抛出し県において管理運営しているので余地はない。人件費については必要最小限であり、削減余地は無い。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 現在当市においては民間開放はしていないが窓口は開いているので公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																			
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	この事業に関しては何も問題はないと思われる。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○						
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>